

阿佐ヶ谷教会



信友会 会報

6 月例会報告 (2018 年 6 月 24 日開催)



聖書研究

旧約聖書 アモス書

昔は夏が来るのを楽しみにしていたが、今年の夏の暑さはひどいもんだ。トップニュースが酷暑や熱中症、それに加え大雨や台風による自然災害。もう私も夏を喜べる歳ではなくなっている。

そういったなかで間もなく迎える平和聖日。戦後 73 年経ったが 8 月 15 日はいつも暑い。ただこの日は特別である。いくら暑くともいいとすら思う。

6 月の例会は久々に旧約聖書のアモス書の聖書講解。北イスラエル王国で活躍した預言者アモスの行動と言葉を古屋先生に解説していただいた。

(Y.O)

預言者 アモス

古屋治雄牧師

はじめに

信友会の今年度のテーマとして「預言者」を取り上げることとし、アモス、ホセア、イザヤとエレミアの学びを行います。預言者としては、旧約聖書の中ではイザヤ、エレミア、エゼキエルなどが主要な預言者ですが、アモスは「預言書」として取り上げられた、すなわち記述預言者としては最初の人物でした。北イスラエルの王ヤロブアム2世(紀元前 786~746 年)治世の時代に登場しその治世の乱れを告発しています。

旧約聖書に登場するイスラエル始祖のアブラハム、出エジプトのモーセやアロンは預言者として敬われ、ダビデ王を預言したサムエル(サムエル上19-24)、ダビデ王朝を支えたナタン(サムエル下 7-2)も預言者と呼ばれていました。また、悪王として名高いアハブ王と対抗したエリヤ(列王記上18-21)、エリシャ(列王記下6-12)も預言者的な働きを担い、エリヤはキリストを「エリアの再来」と言わせたほどでした。しかしこの二人は名前で示される記述預言者とはなりませんでした。

新約聖書では、洗礼者ヨハネやイエス・キリストも預言者の一人と呼ばれました。また、I コリント 12 章では、霊的な賜物を持つ人の力として、預言をする者、異言を語る者が数えられ、そのような預言者が教会に属していました。

アモスは、預言書として記述された預言者としては最も古い人物でした。旧約聖書に取り上げられている預言書は歴史的登場した順番とは関わりなく編纂されています。

北イスラエル王国のヤロブアム2世と分裂した南ユダ王国のウジア王の紀元前 760 年代は、北で圧倒的な力を持って





いたアッシリア王国が弱体化していたことで、南北王国はソロモンの時代に次ぐ政治・経済的に安定した時代でその統治も長期にわたりました。イスラエル周辺の国々は北のアッシリア、南のエジプトの間で両国の抗争などの中で混乱に巻き込まれるのが常でした。一方、旧約聖書の歴史ではこのような安定が続くと腐敗が始まり、驕りが横行し始めます。

預言者アモスの登場

このような乱れた時代にアモスは不思議な形で預言者として登場します。アモス書第1章1節に、「テコアの牧者の一人であったアモスの言葉。ユダの王ウジア、イスラエルの王ヨアシュの子ヤロブアムの時代、あの地震の2年前に、イスラエルについて示されたものである。」と書き出し、1章を通してエルサレム、ダマスコ、ガザ、ティルス、エドム等周辺の諸国民に対する罪を数え上げで弾劾します。アモスの出生のテコアは、南ユダ王国のベツレヘムの東南8キロの牧者の一人でした。しかしアモスの活躍の場所は北イスラエル王国の首都のサマリアやベテルでした。

預言者イザヤは王に次ぐ家柄であり、エレミアやエゼキエルも預言者にふさわしい出自でしたが、アモスは祭司的な出ではありません。アモス書7章14節で、ベテルの祭司アマツヤに「わたしは預言者ではない。預言者の弟子でもない。私は家畜を飼い、いちじく桑を栽培する者だ」と言っています。神はそのような境遇の者を預言者として立てたのです。15節でアモスは、「主は家畜の群れを追っているところから、わたしを取り、行って私の民イスラエルに預言せよ」と言われた。今、主の言葉を聞け。そしてアマツヤに、「イスラエルに向かって預言するな、イサクの家に向かってたわごとを言うな」と言い、「主はこう言われる。お前の妻は街中で遊女となり 息子、娘らは剣に倒れ土地は測り縄で分けられお前は汚れた土地で死ぬ。イスラエルは、必ず捕らえられて その土地から連れ去られる」。滅びの預言をすることは簡単ではないが、イスラエルの将来の運命について極めて冷静に語っています。

アモスの預言の内容

アモス書における預言の内容は、先ず2章6～8節で社会的不正を告発します。「主はこう言われる。イスラエルの三つの罪、四つの罪の故に私は決して許さない。」と言い、正しい者を金で 貧しい者を靴一足の値で売ったこと。弱い者の頭を地の塵に踏みつけ 悩む者の道を曲げる。父も子も同じ女のもとに通う等罪状を挙げて弾劾しています。現実に首都サマリアではこのような様相であったと思います。3章13～15節では指導者の高慢について弾劾します。「万軍の神、主なる神は言われる。聞け、ヤコブの神に警告せよ。わたしがイスラエルの罪を罰する日にベテルの祭壇に罰を下す。祭

壇の角は地に落ちる。私は冬の家と夏の家を打ち壊す。象牙の家は滅び、大邸宅は消え失せると主は言われる。」

ここでは指導者たちの贅沢な生活が指摘して戒めています。4 章 1～3 節では、サマリアの貧しいものを虐げ、贅沢な生活をする女たちに、「主がお前たちを肉鉤で引き上げられ、釣鉤で引き上げられる。そして城壁の破れから引き出されてヘルモンの方へ投げ出される」と激しい言葉で警告しています。6 章 3～25 節では、「お前たちは災いの日を遠ざけようとして不法による支配を引き寄せている。お前たちは象牙の寝台に横たわり長椅子に寝そべり羊の群れから小羊を取り牛舎から子牛を取って宴を開き 豎琴の音に合わせて歌に興じダビデのように楽器を考え出す。」

5 章 21～27 節では宗教者の墮落に対する戒めを語っています。22 節に「たとえ焼き尽くす献げ物をささげてもわたしは受け取らず 肥えた動物の献げ物も顧みない。お前たちの騒がしい歌をわたしから遠ざけよ。豎琴の音もわたしは聞かない。正義を洪水のように 恵みの業を大河のように尽きることなく流れさせよ。」礼拝はしても形式的であると戒めています。礼拝が大仰であってはならず、礼拝を献げる信仰が大切であると言います。礼拝そのものに心はなく、日常生活において貧しい者への配慮、社会的貧困の中での相互扶助がなされているか。長い平和な社会のなかで指導者の慢心から社会倫理がおろそかになっていること。神を神として生きていないことを追及しています。

アモスの預言者としての立ち位置

アモスの立ち位置はどこにあって預言者としての使命を持ったのでしょうか。テコアの牧者であったアモスは神の召命を受けて預言者になりましたが、アモスの拠りどころはイスラエルが王国となる遙か以前の、出エジプトでの神の選びでした。本来のイスラエルの信仰は、出エジプトから弱い者、寡婦や孤児を大切にする伝統があります。イザヤにおけるダビデ王朝は、出エジプトの神の選びと恵みにより庇護されることを強調されますが、アモス書では出エジプトでの神の選びにイスラエルが応えているかが問われています。3 章の 1～2 節で、「イスラエルの人々よ 主がお前たちに告げられた言葉を聞け。－わたしがエジプトの地から導き上がった全部族に対して一地上の全部族のなかからわたしが選んだのはお前たちだけだ。それゆえ、わたしはお前たちをすべての罪のゆえに罰する」。アモスは、最も弱く小さい民を神と父祖との約束のゆえに選ばれた出エジプトの恵みがある中で、イスラエルの民の腐敗と墮落に対して、放置できずに厳しく弾劾します。2 節で神に選ばれた故にその罪を罰すると言っています。



(テキサス風タコスで昼食)

出エジプトの選
びと恵みを受けて
いる故に、恵みに
甘えて犯した罪の
断罪が預言されま
す。これは、旧約
の民のみではなく
普遍的な課題で
あり、私たちの問
題でもあります。出
エジプトの恵みと
いう特別な恵みの

出来事が、神の決定的恵みの出来事として受け止められないときに神はそれを相対化される。つまり民の行動が恵みの出来事ではないことを知らしめ、契約を真実ならしめるために神はその傲慢を裁かれるのです。

7 章 10 節からのベテルでのアマツヤとの激しい口論のなかで、アモスは預言者としてきたイスラエルの民の墮落が滅亡に向かうと言わざるを得なかったのです。そしてアモスはベテルから追放されています。結果として、紀元前 8 世紀 (722 年) に北イスラエル王国はアッシリアに、南ユダ帝国はバビロニア (587 年) に滅ぼされバビロン捕囚となっています。

預言者アモスと「アモス書」

9章11節から「後の日の回復」の小見出しで、復興の預言が語られています。11節では、「その日には わたしはダビデの倒れた仮庵を復興し その破れを修復し、廃墟を復興して昔の日のように建て直す。こうして、エドムの生き残りの者とわが名をもって呼ばれる全ての国を彼らに所有させよう、と主は言われる。主はこのことを行う。」14節には、「わたしは、わが民イスラエルの繁栄を回復する。彼らは荒らされた町を立て直して住み ぶどう畑を作って、ぶどう酒を飲み 園を造って、実りを食べる」。この復興の預言はアモス自身のものかは議論のあるところです。アモスはイスラエルの殲滅のみでなく救済も語ったのでしょうか。「アモス書」の編纂については、旧約聖書の多くの部分がバビロン捕囚の時代に行われているので、イスラエル民族が悲惨な運命に至った反省から書き加えたのではとも考えられます。預言者アモスと「アモス書」の間の興味ある課題です。

(文責 玉澤武之)

本日の昼飯:テキサス風タコス 35 人分

メインシェフ:Brad Lucido、

助手:打方真樹、寺嶋章、日比谷豊、荻原雄二



(タコスを調理するBradさん)

